

8/12
5/30



意見書提出を求める請願を否決後、市役所前で直ちに宣伝行動をする傍聴者ら＝11日、長野市

戦争法案

市民の廃案請願否決

長野市議会 自民系案はとり下げ

長野市議選を9月に控え、3日から開会した長野市議会は11日、

総務委員会で市民団体から出された「安全保障法案の廃案を求める意見書提出の請願」を、4対5の賛成少数で否決しました。

傍聴者らアピール

同市議会は3月議会で「国の存立を全うし、国民を守るための切れ目のない安全保障法制の整備について」の閣議決定に関する法制化を求める意見書を新友会（自民系）、公明党の賛成で決めました。6月市議会でも市民

団体の請願を否決して、「戦争法案」を容認し「わかりやすい説明を求める」意見書を新友会と公明党の賛成で採択しています。

総務委員会には40人余が傍聴。市民の請願を否決したうえで、新友会議員が議員提案の意見書を提案しましたが、厳しい批判をあび

て審議が一時中断。再開後に提案をとり下げました。請願審議終了後、傍聴者と4市議で集会が開かれ、総務委員会所属の共産党の佐藤くみ子市議は「私たちの世論と運動が戦争法案に賛成する議員を追いつめている」と語りました。

信州レッドアクションなどの呼びかけで、傍聴者らが市役所前で宣伝。ポードを掲げ「戦争法案絶対反対」をアピールしました。